

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：北里大学保健衛生専門学院 医療専門課程 臨床検査技師養成科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	時間数	必修・ 選択等	科目 区分
1 現代社会とメンタルヘルス	病院での臨床経験を踏まえ、医療従事者と患者をつなぐコミュニケーションの重要性を伝える。	星野 ちなみ	星野 ちなみ ※ アハヌ 岡本実砂子 栗原 哲也	1	前期	2 単位	30 時間	必修	講義
2 病理学	病院での臨床経験を踏まえ、疾患の成り立ち、形態的变化について概説する。	星野 ちなみ	星野 ちなみ ※	2	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
3 微生物学	病院での臨床経験を踏まえ、微生物の基礎知識と感染症について概説する。	金子 博司	金子 博司 ※	1	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
4 メディカルケア概論	病院での臨床経験を踏まえ、認知症検査について概説する。	小丸 圭一	大友 崇 小丸 圭一 寺島 健 ※	3	後期	1 単位	15 時間	必修	講義
5 基礎医学実習	病院での臨床経験を踏まえ、各項目について実習する。	山口 聖子	金子 博司 ※ 五十嵐 康之 ※ 野邊 八重子 ※ 星野 ちなみ ※ 小丸 圭一 竹内 法子 山口 聖子	1	前期	2 単位	90 時間	必修	実習
6 医学概論	病院での臨床経験を踏まえ、医療従事者に必要な医学の概要について説明する。	藤野 良昭	藤野 良昭 ※	1	前期	1 単位	15 時間	必修	講義
7 公衆衛生学Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、臨床検査技師法、死体解剖、臓器移植について概説する。	木村 幸一郎	木村 幸一郎 星野 ちなみ ※	2	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
8 保健看護学概論	病院での臨床経験を踏まえ、担当科目を概説する。	相田 武則	相田 武則 ※ 木田 洋子 ※	3	前期	1 単位	15 時間	必修	講義
9 医用工学実習	病院での臨床経験を踏まえ担当分野の実習を指導する。	木村 幸一郎	木村 幸一郎 中野 広基 ※	2	前期	1 単位	30 時間	必修	実習
10 検査機器学	病院での臨床経験を踏まえ、検査機器の構造・原理・使用方法について説明する。	金子 博司	金子 博司 ※	1	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
11 臨床医学総論	病院での臨床経験を踏まえ、各種疾患の成り立ちや特徴について概説する。	富永 一郎	富永 一郎 ※ 福田 修 ※ 山口 聖子	2	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
12 臨床病態学Ⅰ	病院での臨床経験を踏まえ、各種検査及び結果の解釈について概説する。	小池 敦	小池 敦 ※ 小林 浩二	2	後期	1 単位	30 時間	必修	講義

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：北里大学保健衛生専門学院 医療専門課程 臨床検査技師養成科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	時間数	必修・ 選択等	科目 区分
13 臨床病態学Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、各種検査および結果の解釈について概説する。	藤野 良昭	宮下 裕美 ※ 小池 敦 ※ 藤野 良昭 ※ 柴田 真由美 ※	2	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
14 病態解析学	病院での臨床経験を踏まえ、各担当科目を概説する。	金子 博司	五十嵐 康之 ※ 星野 ちなみ ※ 小林 浩二 ※ 小丸 圭一 ※ 野邊 八重子 ※ 金子 博司 ※	3	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
15 チーム医療論	病院での臨床経験を踏まえ、臨床におけるチーム医療について概説する。	金子 博司	金子 博司 ※ その他	3	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
16 チーム医療演習	病院での臨床経験を踏まえ、チーム医療に携わる臨床検査技師について概説する。	金子 博司	金子 博司 ※ その他	3	前期	1 単位	30 時間	必修	演習
17 病態学特論	病院での臨床経験を踏まえ、各種検査及び結果の解釈について概説する。	藤野 良昭	藤野 良昭 ※	3	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
18 血液検査学Ⅰ	受託臨床検査施設及び病院での臨床経験を踏まえ、血液細胞の産生過程や臨床現場で必要不可欠な細胞鑑別のための形態的特徴や機能について概説する。	五十嵐 康之	五十嵐 康之 ※	1	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
19 血液検査学Ⅱ	受託臨床検査施設及び病院での臨床経験を踏まえ、血液疾患の発症メカニズムから最新の臨床知見と検査技術を関連付けて概説する。	五十嵐 康之	五十嵐 康之 ※	2	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
20 血液検査学実習	受託臨床検査施設及び病院での臨床経験を踏まえ、血球数算定法から血液像・骨髄像の判読法、自動分析機を用いたデータ解析技術を概説する。	五十嵐 康之	五十嵐 康之 ※ 星野 ちなみ ※	2	前期	1 単位	45 時間	必修	実習
21 凝固止血検査学	受託臨床検査施設及び病院での臨床経験を踏まえ、凝固止血のメカニズムと凝固疾患の成り立ちや経過について、臨床データと関連付けながら概説する。	五十嵐 康之	五十嵐 康之 ※	2	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
22 凝固止血検査学実習	受託臨床検査施設及び病院での臨床経験を踏まえ、凝固検査の臨床的意義と自動分析機を用いた測定原理とデータ解析技術を概説する。	五十嵐 康之	五十嵐 康之 ※ 星野 ちなみ ※	2	後期	1 単位	45 時間	必修	実習
23 血液検査学特論	受託臨床検査施設及び病院での臨床経験を踏まえ、血液疾患の発症メカニズムから最新の臨床知見と検査技術を関連付けて概説する。	五十嵐 康之	五十嵐 康之 ※	3	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
24 病理細胞検査学Ⅰ	病院での臨床経験を踏まえ、病理学的検査方法の標本作製方法、染色の方法について概説する。	星野 ちなみ	星野 ちなみ ※	1	後期	1 単位	30 時間	必修	講義

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：北里大学保健衛生専門学院 医療専門課程 臨床検査技師養成科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	時間数	必修・ 選択等	科目 区分
25 病理細胞検査学Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、病理学的検査方法の標本作製方法、染色の方法について概説する。	星野 ちなみ	星野 ちなみ ※	2	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
26 病理細胞検査学実習Ⅰ	病院での臨床経験を踏まえ、病理学的検査方法の標本作製方法、染色の方法について実技を概説する。	星野 ちなみ	星野 ちなみ ※ 竹内 法子	1	後期	1 単位	45 時間	必修	実習
27 病理細胞検査学実習Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、病理学的検査方法の標本作製方法、染色の方法について実技を概説する。	星野 ちなみ	星野 ちなみ ※ 野邊 八重子 ※	2	前期	1 単位	45 時間	必修	実習
28 病理検査学特論	病院での臨床経験を踏まえ、疾患や組織学的変化について概説する。	星野 ちなみ	星野 ちなみ ※	3	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
29 臨床基礎検査学実習	病院での臨床経験を活かし、尿沈渣検査の実技に関する実践を行う。	小林 浩二	小林 浩二 星野 ちなみ ※ 小野 篤史 ※	1	通年	1 単位	45 時間	必修	実習
30 免疫検査学Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、免疫と感染症および検査に関する知識について概説する。	小松 博義	小松 博義 ※	2	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
31 輸血移植検査学Ⅰ	病院での臨床経験を踏まえ、輸血や移植の知識について概説する。	反町 彰志	反町 彰志 ※	2	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
32 輸血移植検査学Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、輸血や移植の知識について概説する。	藤野 良昭	藤野 良昭 ※	2	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
33 輸血移植免疫学実習	病院での臨床経験を踏まえ、輸血や移植の技術について概説する。	反町 彰志	反町 彰志 ※ 五十嵐 康之 ※	2	後期	1 単位	45 時間	必修	実習
34 輸血移植検査学特論	受託臨床検査施設及び病院での臨床経験を踏まえ、輸血検査の基礎知識から最新の臨床知見と検査技術を関連付けて概説する。	五十嵐 康之	五十嵐 康之 ※	3	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
35 臨床微生物学Ⅰ	病院での臨床経験を踏まえ、微生物検査の対象と意義及び各種病原体の特徴について概説する。	金子 博司	金子 博司 ※	2	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
36 臨床微生物学Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、微生物検査の対象と意義及び各種病原体の特徴について概説する。	金子 博司	金子 博司 ※ 北里 英郎	2	後期	1 単位	30 時間	必修	講義

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：北里大学保健衛生専門学院 医療専門課程 臨床検査技師養成科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	時間数	必修・ 選択等	科目 区分
37 臨床微生物学実習	病院での臨床経験を踏まえ、微生物検査の対象と意義及び実際の検査手技について概説する。	金子 博司	金子 博司 ※ 小林 浩二	2	通年	2 単位	90 時間	必修	実習
38 微生物学特論	病院での臨床経験を踏まえ、微生物検査の対象と臨床的意義、各種病原体の特徴について、卒前教育として必要とされる知識を全般的に概説する。	金子 博司	金子 博司 ※	3	後期	2 単位	60 時間	必修	講義
39 生理機能検査学Ⅰ	病院での臨床経験を踏まえ、生理学的検査の役割、患者接遇を概説する。また、聴覚検査、眼底検査、平衡機能検査および筋電図検査を概説する。	野邊 八重子	野邊 八重子 ※	1	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
40 生理機能検査学Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、呼吸器系の検査の意義及び臨床検査技師がどのように検査を行うかを概説する。	野邊 八重子	野邊 八重子 ※	1	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
41 生理機能検査学Ⅲ	病院での臨床経験を踏まえ、循環器系の検査（心電図、心音図、脈管系検査等）の意義及び実際に臨床検査技師がどのように検査を行うかを概説する。	野邊 八重子	野邊 八重子 ※ 外山 竹弥 ※	1	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
42 生理機能検査学Ⅳ	病院での臨床経験を踏まえ、脳波検査、睡眠呼吸検査、動脈血ガス分析を概説する。	野邊 八重子	野邊 八重子 ※	2	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
43 生理機能検査学実習Ⅰ	病院での臨床経験を踏まえ、脳波検査、平衡機能検査、聴覚検査および味覚検査における知識と技術を概説する。	野邊 八重子	小林 浩二 外山 竹弥 ※ 星野 ちなみ ※ 野邊 八重子 ※	1	後期	1 単位	45 時間	必修	実習
44 生理機能検査学実習Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、心電図検査、脳波検査における知識と技術を概説する。	野邊 八重子	外山 竹弥 ※ 野邊 八重子 ※ 竹内 法子	2	前期	1 単位	45 時間	必修	実習
45 画像検査学	病院での臨床経験を踏まえ、超音波検査の意義及び手技を概説する。	野邊 八重子	野邊 八重子 ※ 大竹 知弘 ※	2	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
46 画像検査学実習	病院での臨床経験を踏まえ、超音波検査の意義及び実際に臨床検査技師がどのように検査を行うかを概説する。	野邊 八重子	野邊 八重子 ※ 五十嵐 康之 ※ 竹内 法子	2	後期	1 単位	45 時間	必修	実習
47 生理検査学特論	病院での臨床経験の経験を踏まえ、生理機能検査における知識を概説する。	野邊 八重子	野邊 八重子 ※ 竹内 法子	3	後期	2 単位	60 時間	必修	講義
48 検査管理学Ⅰ	病院での臨床経験を踏まえ、臨床検査業務とそのマネジメントについて概説する。	藤野 良昭	藤野 良昭 ※	1	後期	1 単位	30 時間	必修	講義

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：北里大学保健衛生専門学院 医療専門課程 臨床検査技師養成科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	時間数	必修・ 選択等	科目 区分
49 検査管理学Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、臨床検査業務とそのマネジメントについて概説する。	金子 博司	藤野 良昭 ※ 金子 博司 ※	3	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
50 臨床検査総合管理学特論	病院での臨床経験を踏まえ、臨床検査で使用する機器について概説する。	金子 博司	金子 博司 ※ 小林 浩二 木村 幸一郎	3	後期	2 単位	60 時間	必修	講義
51 医療安全管理学	病院での臨床経験を踏まえ、医療倫理・医療安全、各種検体採取法とそれに伴う注意事項、感染対策について概説する。	金子 博司	藤野 良昭 ※ 樋口 敦子 ※ 小池 敦 ※ 野邊 八重子 ※ 小丸 圭一 金子 博司 ※	2	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
52 医療安全管理学演習	病院での臨床経験を踏まえ、各種検体採取法について概説する。	金子 博司	藤野 良昭 ※ 藤原 浩 ※ 本田 耕平 ※ 金子 博司 ※	2	後期	1 単位	15 時間	必修	演習
53 臨地実習	病院での臨床経験を踏まえ、臨地実習指導者と連携しながら臨床検査の基本的な技術習得が達成できるよう調整役としてサポートする。	金子 博司	金子 博司 ※ 臨地実習指導者他	3	前期	11 単位	440 時間	必修	実習
54 臨床検査総合実習	病院、検査センターでの臨床経験を踏まえ、臨地実習前に必要とされる技能修得度の評価を行う。	金子 博司	金子 博司 ※ 小丸 圭一 山口 聖子 小林 浩二 竹内 法子 五十嵐 康之 ※ 野邊 八重子 ※ 星野 ちなみ ※	3	前期	1 単位	45 時間	必修	実習
合計						70 単位	2,330 時間		

行は適宜追加してください。
シラバスの関連項目と記載を一致させてください。